

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 初穂商事株式会社

コード番号 7425 URL <http://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 高野 温志

TEL 052-222-1066

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	9,430	△10.7	△98	—	△63	—	△158	—
21年12月期第3四半期	10,565	△13.9	△123	—	△84	—	△74	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△19.20	—
21年12月期第3四半期	△8.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	8,937	4,480	50.1	546.34
21年12月期	10,270	4,714	45.9	565.14

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,480百万円 21年12月期 4,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	4.00	4.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,880	△9.2	△100	—	△47	—	△145	—	△17.60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 8,701,656株 21年12月期 8,701,656株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 501,532株 21年12月期 358,792株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 8,243,674株 21年12月期3Q 8,344,588株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 経営管理上重要な指標の推移	9
(2) 仕入及び販売の状況	9
(3) 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値・予想値	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国を中心としたアジア諸国への輸出に牽引され、製造業を中心とした持ち直しの動きはあるものの、設備投資の低迷が長期化したことに加え、雇用環境の悪化や円高、デフレ圧力が強まるなど景気を下振れするリスクもなお残されており、国内環境は、極めて厳しい状況が継続いたしました。

当社を取り巻く需要環境につきましては、主要な需要先である建設分野は、民間設備投資や住宅建設の伸び悩みを背景とし、建材需要の長期低迷が続いており、経営環境は極めて厳しい状況となりました。

当社は、このような厳しい経営環境のなか、地域に根ざした営業活動を推進し、顧客への訪問回数を増やすなど情報収集に努めてまいりました。また、「必要な商品を必要な時に必要な数量を必要な場所にお届けする」という初穂商事のジャスト・イン・タイムに徹しながら、物流改善等あらゆる無駄の排除に取り組み、全社を挙げて徹底したコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高94億30百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業損失98百万円（前年同四半期は営業損失1億23百万円）、経常損失63百万円（前年同四半期は経常損失84百万円）、四半期純損失1億58百万円（前年同四半期は四半期純損失74百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は89億37百万円となり、前事業年度末に比べ13億33百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4億94百万円、受取手形及び売掛金が7億67百万円、長期性預金が1億円、繰延税金資産(固定)が51百万円減少し、商品が1億57百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は44億57百万円となり、前事業年度末に比べ10億98百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億39百万円、未払消費税等が40百万円、長期借入金が1億48百万円減少し、一年内返済予定長期借入金が92百万円、賞与引当金が30百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は44億80百万円となり、前事業年度末に比べ2億34百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1億91百万円減少し、自己株式が39百万円増加したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前事業年度末に比べ6億24百万円減少し、12億21百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、4億79百万円（前年同四半期は88百万円の減少）となりました。これは主に、減価償却費の計上49百万円、売上債権の減少7億67百万円、法人税等の還付額29百万円の方で、税引前四半期純損失73百万円、たな卸資産の増加1億57百万円、仕入債務の減少10億36百万円、その他負債の減少62百万円（未払金、未払消費税等）などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同四半期は5百万円の増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円、投資有価証券の償還による収入9百万円、貸付金の回収による収入10百万円の方で、定期預金の預入による支出70百万円、有形固定資産の取得による支出5百万円、その他資産の増加7百万円（保険積立金）などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億19百万円（前年同四半期は1億59百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増額10百万円の方で、長期借入金の返済による支出55百万円、自己株式の取得による支出40百万円、配当金の支払額による支出33百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の業績予想につきましては、現時点では、平成22年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,381,420	1,875,617
受取手形及び売掛金	3,842,087	4,609,165
有価証券	—	10,502
商品	774,069	616,254
貯蔵品	5,019	4,930
その他	111,332	136,465
貸倒引当金	△22,898	△26,226
流動資産合計	6,091,030	7,226,709
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	355,151	372,643
土地	1,492,965	1,502,987
その他(純額)	85,417	94,533
有形固定資産合計	1,933,535	1,970,165
無形固定資産		
投資その他の資産	10,965	20,202
その他	1,014,352	1,164,360
貸倒引当金	△112,395	△110,645
投資その他の資産合計	901,957	1,053,714
固定資産合計	2,846,457	3,044,083
資産合計	8,937,488	10,270,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,611,234	4,650,457
短期借入金	235,000	225,000
1年内返済予定の長期借入金	166,500	74,000
未払法人税等	13,107	13,614
賞与引当金	51,400	21,100
その他	131,498	182,725
流動負債合計	4,208,740	5,166,897
固定負債		
長期借入金	64,000	212,000
役員退職慰労引当金	126,049	122,634
その他	58,665	54,403
固定負債合計	248,714	389,037
負債合計	4,457,455	5,555,934

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,184	1,316,184
利益剰余金	2,397,514	2,589,128
自己株式	△118,685	△78,757
株主資本合計	4,480,147	4,711,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△114	3,168
評価・換算差額等合計	△114	3,168
純資産合計	4,480,032	4,714,857
負債純資産合計	8,937,488	10,270,792

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	10,565,587	9,430,513
売上原価	8,993,989	7,929,498
売上総利益	1,571,597	1,501,014
販売費及び一般管理費	1,694,916	1,599,904
営業損失(△)	△123,319	△98,889
営業外収益		
受取利息	5,751	5,492
受取配当金	1,047	901
受取賃貸料	11,379	11,923
仕入割引	24,142	23,636
その他	5,046	7,429
営業外収益合計	47,368	49,383
営業外費用		
支払利息	5,919	4,437
賃貸費用	1,088	2,130
売上割引	—	6,915
その他	1,067	918
営業外費用合計	8,075	14,401
経常損失(△)	△84,026	△63,907
特別損失		
固定資産売却損	398	46
固定資産除却損	1,021	1,604
投資有価証券償還損	—	3,896
投資有価証券評価損	—	3,341
貸倒引当金繰入額	570	230
特別損失合計	1,989	9,118
税引前四半期純損失(△)	△86,015	△73,026
法人税、住民税及び事業税	13,286	11,084
法人税等調整額	△25,227	74,131
法人税等合計	△11,940	85,215
四半期純損失(△)	△74,074	△158,242

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△86,015	△73,026
減価償却費	66,395	49,402
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,500	30,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38,217	△1,577
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,414	3,415
受取利息及び受取配当金	△6,798	△6,394
支払利息	5,919	4,437
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,419	1,650
投資有価証券償還損益(△は益)	—	3,896
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,341
売上債権の増減額(△は増加)	1,799,487	767,667
たな卸資産の増減額(△は増加)	430,363	△157,903
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,281,989	△1,036,254
その他	24,185	△91,984
小計	△50,335	△503,029
利息及び配当金の受取額	7,993	7,190
利息の支払額	△7,057	△4,847
法人税等の支払額	△43,150	△7,990
法人税等の還付額	4,410	29,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,139	△479,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△70,000
定期預金の払戻による収入	140,060	40,000
有形固定資産の取得による支出	△33,559	△5,607
有形固定資産の売却による収入	290	228
無形固定資産の取得による支出	△2,921	—
投資有価証券の取得による支出	△1,899	△1,835
投資有価証券の償還による収入	—	9,502
貸付けによる支出	△4,798	—
貸付金の回収による収入	8,277	10,158
その他	△40,298	△7,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,151	△25,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△85,000	10,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,500	△55,500
社債の償還による支出	△200,000	—
自己株式の取得による支出	△724	△40,129
配当金の支払額	△58,203	△33,263
その他	—	△658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,427	△119,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△242,414	△624,196
現金及び現金同等物の期首残高	1,556,006	1,845,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313,591	1,221,420

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

当社は、企業価値を向上していくことを経営の目標としております。経営指標といたしましては、企業の付加価値を如何に高めることができるかを重視し、自己資本当期純利益率及び売上高経常利益率の上昇を目指してまいります。

(2) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
軽量鋼製下地材・不燃材 (千円)	5,164,437	89.6
建築金物・エクステリア (千円)	1,145,149	94.9
鉄線・溶接金網 (千円)	776,469	112.6
A L C金具副資材 (千円)	395,503	90.2
カラー鉄板 (千円)	556,545	129.5
窯業建材金具副資材 (千円)	49,208	145.2
合計 (千円)	8,087,313	94.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
軽量鋼製下地材・不燃材 (千円)	6,127,263	86.3
建築金物・エクステリア (千円)	1,313,890	91.9
鉄線・溶接金網 (千円)	899,553	105.9
A L C金具副資材 (千円)	472,272	79.1
カラー鉄板 (千円)	554,731	102.8
窯業建材金具副資材 (千円)	62,803	123.4
合計 (千円)	9,430,513	89.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値・予想値

① 設備投資

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

② 減価償却費

減価償却累計額

有形固定資産	1,551,190千円
投資不動産	19,649千円

③ 研究開発費の実績値・予想値

該当事項はありません。